

News Release

2020年12月24日
独立行政法人製品評価技術基盤機構
NITE（ナイト）
東北支所

テレワークで大混雑 ～プラグ・コードの取り扱いに注意～ (東北版資料)

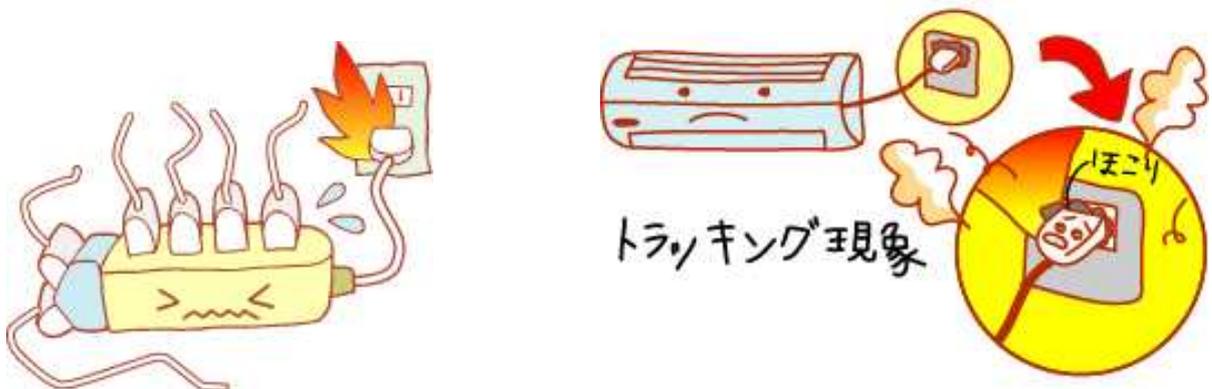
1. 事故の発生状況

配線器具やプラグ・コードの事故が毎年発生しています。全国では配線器具の事故は282件（内：火災事故164件）、プラグ・コードの事故は276件（内：火災事故155件）ありましたが、東北地方6県（青森県、岩手県、秋田県、山形県、宮城県、福島県）で2015年度から2019年度までの5年間にNITEに通知のあった製品事故情報^{*1}のうち、テーブルタップ・延長コードなどによる事故は14件、電気製品の電源プラグ・電源コードによる事故は6件ありました。

被害状況は、テーブルタップ・延長コードは、軽傷3件、拡大被害9件、製品破損2件で、電源プラグ・電線コードは、拡大被害3件、製品破損3件でした。

東北地区においても配線器具についてコンセントに延長コードの差込みプラグを長期間接続したまま放置し、トラッキング現象^{*2}が生じたことによる火災や、電源プラグ・電線コードでは、電気製品本体のコードの接続部に過度なねじれや屈曲等のストレスが加わりコード芯線が断線してスパークした火災事故が発生しています。

今年是在宅勤務も多く、携帯電話、タブレット端末、ノートパソコン、更には関連するワイヤレスのOA関連機器の充電などにより電源周りが煩雑になってしまっている場合も考えられます。配線器具等やコンセント周辺を改めて点検し、事故を未然に防ぎましょう。



(イメージです。)

表1 テーブルタップ・延長コードなどによる事故の県別の年度別事故発生件数

発生年度 \ 発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
2015年度	2	0	1	0	0	0	3
2016年度	1	1	1	0	3	2	8

2017年度	0	1	0	0	0	0	1
2018年度	0	0	0	0	2	0	2
2019年度	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	2	2	0	5	2	14

表2 電気製品の電源プラグ・電源コードによる事故の県別の年度別事故発生件数

発生年度 \ 発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
2015年度	0	0	0	0	1	1	2
2016年度	0	0	1	0	1	0	2
2017年度	0	1	0	0	0	0	1
2018年度	0	0	0	0	0	0	0
2019年度	0	0	1	0	0	0	1
合計	0	1	2	0	2	1	6

表3 テーブルタップ・延長コードによる事故の県別の被害状況別事故発生件数

被害状況 \ 発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
死亡	0	0	0	0	0	0	0
重傷	0	0	0	0	0	0	0
軽傷	1	0	0	0	1	1	3
拡大被害	2	1	2	0	3	1	9
製品破損	0	1	0	0	1	0	2
被害なし	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	2	2	0	5	2	14

表4 電気製品の電源プラグ・電源コードによる事故の県別の被害状況別事故発生件数

被害状況 \ 発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
死亡	0	0	0	0	0	0	0
重傷	0	0	0	0	0	0	0
軽傷	0	0	0	0	0	0	0
拡大被害	0	0	0	0	2	1	3
製品破損	0	1	2	0	0	0	3
被害なし	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	2	0	2	1	6

表5 テーブルタップ・延長コードによる事故の県別の被害状況別事故発生件数

原因区分 \ 発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
に製品起因 A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	2	1	1	0	5	2	11

	B: 製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	C: 経年劣化によるもの	0	0	0	0	0	0	0
	G3: 製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	0	0	0	0	0	0
事故 製品に起因しない	D: 施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	E: 誤使用や不注意によるもの	0	0	1	0	0	0	1
	F: その他製品に起因しないもの	1	0	0	0	0	0	1
G1、G2: 原因不明のもの		0	1	0	0	0	0	1
H: 調査中のもの		0	0	0	0	0	0	0
合計		3	2	2	0	5	2	14

表 6 電気製品の電源プラグ・電源コードによる事故の県別の被害状況別事故発生件数

原因区分		発生県						合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	0	1	0	0	0	1
	B: 製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	C: 経年劣化によるもの	0	0	0	0	0	0	0
	G3: 製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	0	0	0	0	0	0
事故 製品に起因しない	D: 施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	E: 誤使用や不注意によるもの	0	0	0	0	1	0	1
	F: その他製品に起因しないもの	0	0	1	0	0	0	1
G1、G2: 原因不明のもの		0	1	0	0	1	1	3
H: 調査中のもの		0	0	0	0	0	0	0
合計		0	1	2	0	2	1	6

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含める。

(※2) 付着したほこりや水分によりトラック（電気の通り道）が生成され、異常発熱する現象。

2. 主な事故事例

○2019年3月3日 延長コード【マルチタップ】（山形県、年齢性別不明）

事故内容： 延長コードのマルチタップの根元が断線し、洗濯機が焦げた。

事故原因： プロテクター部の樹脂材料の柔軟性が低いこと、及びプロテクター部の形状、肉厚の影響等により、プロテクター先端部に集中的に曲げ応力が加わり、断線・スパークが生じたものと推定される。

○2016年4月4日 延長コード（宮城県、80代女性）

事故内容： 使用中の壁コンセントに接続した延長コード付近から出火し、周辺を焼損した。

事故原因： 壁コンセントに延長コードの差込みプラグを長期間接続したまま放置していたため、接続部に埃等が蓄積し、トラッキング現象が生じて焼損したものと推定される。

○2017年8月10日 延長コード（岩手県、10歳未満、年齢不明）

事故内容： 当該製品に複数の電気製品を接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因： 電源プラグ付近で異常発熱して出火したものと推定されるが、異常発熱の原因が、接続可能な最大電力(1500W)を超えて多数の電気製品(870Wの電気ポットと650Wのコーヒーマーカー)を接続し使用したことによるものか、カシメ不良によるものか不明なため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。

○2015年10月14日 ヘアドライヤー（山形県、70代男性）

事故内容： 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因： 本体接続部の電源コードに、過度なねじれや屈曲等のストレスが繰り返し加わったため、コード芯線が断線してスパークし、出火に至ったものと推定される。

○2016年6月(日にち不明) ヘアアイロン（宮城県、年齢性別不明）

事故内容： ヘアアイロンを使用中に電源コードから火花が発生し、本体側の電源コードが断線した。

事故原因： 電源コードの設計変更をした際に、コードプロテクターの耐屈曲性が不足していたため、通常使用時の屈曲により半断線状態となり、短絡・スパークしたものと推定される。

○2016年1月19日 電気ストーブ（福島県、30代女性）

事故内容： 異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。

事故原因： 当該製品の電源コードに過度のストレスが加わり、半断線状態となって異常発熱し、出火したものと推定されるが、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。

3. 製品事故の実験映像について

製品事故の実験映像に関しまして、写真及び動画をご希望の場合は、下記の間い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

【編集人のつぶやき】

まさに師走とは言ったもので、今年もあっという間に年末を迎えることになりました。今年はコロナ禍で自由に家族や友人とも対面での交流が出来ず、自宅に居る時間が多い年となりました。夏休みに続き、年末年始も家族や友人とはオンラインでの交流になりそうです。

編集人も昨今の例に漏れず、PC やタブレット端末、スマートフォン、ワイヤレスのイヤフォン・スピーカーなどなど、リチウムイオンバッテリーが内蔵されたPC 関係の周辺機器を利用し、充電と利用を繰り返しています。配線はたこ足状態にもなり、時には在宅勤務時に寒くて電気ストーブを利用することもあります。

あまり気にせず便利に利用していましたが、利用時には接続する電気製品の消費電力の確認や、コンセント付近にホコリが無いかなど確認しないといけないと思いました。編集人のテレビの裏はきっとホコリだらけだと思うので、年末に掃除することとします！

この機会に配線器具や電源プラグ付近などを点検し、事故を未然に防ぎましょう。

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

独立行政法人製品評価技術基盤機構 東北支所

ナイト

(略称:NITE)

担当: 菊地(きくち)、齋藤(さいとう)、照井(てるい)

電話: 022-256-6423

E-mail: jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ



YouTube
公式チャンネル



Twitter
公式アカウント

